



読解練習問題（説明的文章）

本文を読んで、後の問いに答えましょう。

私たちは、何かが「当たり前」だと思っていると、そのことについて深く考えなくなる
ことがあります。
たとえば、毎日蛇口から水が出ることや、夜になれば電氣をつけて部屋が明るくなる
ことは、日本ではふつうのことかもしれません。しかし、世界の中には、きれいな水を
手に入れることがむずかしい国や、電氣が使えない地域もたくさんあります。
このように、「当たり前」だと思っていたことも、ほかの立場に立って見ることで、
ありがたさに気づくことができるのです。だからこそ、私たちは身のまわりのことに感
謝し、その意味を考えることが大切なのです。

問一 この文章で筆者が一番言いたいこと（主張）はどれですか。次のア～エから一つえらび
ましょう。

ア 水や電氣は人間の生活に欠かせないものである。
イ 世界には、水や電氣が使えない国がたくさんある。
エ 日本では当たり前前のことが、ほかの国ではそうでないことがある。
エ 「当たり前」に思えることに感謝し、その意味を考えることが大切である。

問二 「当たり前」だと思っていると、どのようなことが起こると筆者は言っていますか。本
文から正しいものを選びましょう。
ア そのことについて深く考えなく知ろうとするようになる。
イ そのことに不満を感じるようになってしまう。
エ そのことを他人にも教えたくなる。

問三 「このように」という言葉は、どのような内容をまとめていますか。次の中から選びま
しょう。
ア 電氣が使えない地域のこと。
イ 世界には生活が不便な人が多いということ。
エ 「当たり前」が当たり前前でないということに気づける、ということ。
私 たちの生活はとても便利だということ。

✓ 解答と解説 問題正解説

問一 最後の段落で「だからこそ大切なので
す。」と、筆者の主張がまとめられていま
す。
問二 最初の段落で「深く考えなくなるこ
とがあります」とあります。
問三 「このように」は前の段落全体をまと
ており、「当たり前」に気づけるとい
とを言っています。



読解練習問題（説明的文章）

本文を読んで、後の問いに答えましょう。

私たちは、よく「時間がない」と言います。しかし本当に時間がないのでしょうか。→日は誰にとっても24時間です。つまり、時間が「あるか・ないか」ではなく、「どう使っているか」が大切なのです。たとえば、スマートフォンを見ている時間や、なんとなくぼんやりしている時間が多いと、本当にやりたいことに使える時間が少なくなってしまうです。だからこそ、まず自分が→日をどう過ごしているのかを見直すことが、時間を上手に使う第一歩なのです。

問一 筆者がこの文章で一番言いたいこと（主張）はどれですか。次の中から→つ選びましょう。

ア スマートフォンを使いすぎるのはよくない。

→日は誰にとっても24時間しかない。

エ 「時間がない」と思ったときは、→日の使い方を見直すことが大切だ。

問二

「つまり、時間が『あるか・ないか』ではなく、『どう使っているか』が大切なので、→とありますが、ここでの「つまり」は、どんなことを言いかえているか。次の中から選びましょう。

ア スマートフォンの使い方についての説明

エ 「時間を大切に使うための方法
→時間のうち睡眠に使う時間

問三

筆者は「時間を上手に使うために」何をすべきだと言っていますか。正しいものを→つ選びましょう。

ア 予定を細かく立てること。

イ スマホを全く使わないようにすること。

エ →日をどう過ごしているかを見直すこと。

✓ 解答と解説 問題正解説

問一

最後の文に筆者の主張「見直すことが大切」とはつきり書かれています。

問二

「つまり」はその前の「時間がないのか？」という問いへの説明になっている

問三

最後の文「→まず自分が→日をどう過ごしているのかを見直すことが…」が答えの根拠です。



読解練習問題（説明的文章）

本文を読んで、後の問いに答えましょう。

人は失敗すると落ちこみます。でも、失敗をまったくしない人はいません。大切なのは、その失敗から何を学ぶかです。たとえば、サッカーの試合で負けてしまったとき、「もっと練習しておけばよかった」と気づいたら、それは大きな一歩です。失敗は、自分を成長させるチャンスでもあるのです。

問→ この文章で筆者の主張（いちばん言いたいこと）はどれですか。次の中から一つ選びましょう。

ア 人は誰でも失敗する。

イ 失敗は自分を成長させるチャンスでもある。

エ ウ サッカーの試合に負けることもある。もっと練習しておけばよかったと反省することが大事だ。

問→

「たとえば、サッカーの試合で」の部分は、筆者のどんな考えを説明するために使われていますか。次の中から一つ選びましょう。

ア 主張をくり返すため

イ 主張を反対するため

エ ウ サッカーについて、情報を伝えるため

✅ 答えと解説

問題正解説

問題正解説

最後の文で「失敗はチャンス」と主張をまとめている。

問→ 「たとえば」が出てきたら具体例のサイン。主張「失敗は成長のチャンス」をわかりやすくするための例です。

「たとえば」が出てきたら具体例のサイン。主張「失敗は成長のチャンス」をわかりやすくするための例です。



読解練習問題（説明的文章）

本文を読んで、後の問いに答えましょう。

本を読むことは、言葉の力を高めるのにとっても役立ちます。本を読めば、新しい言葉を知ることができ、言葉の力を高めることができます。たとえば、歴史の本を読めば、昔の人がどのように生きていたかがわかります。これは教科書だけでは学べないことです。

問一

この文章で筆者が伝えたい主張はどれですか。次の中から二つ選びましょう。

ア

本を読めば新しい言葉を知ることができる。

イ

教科書では歴史のすべてを学べない。

エ

歴史の本を読むことは、言葉の力を高めるのに役立つ。

ウ

教科書の考えに反対する意見を示すため

エ

筆者の主張をわかりやすくするための具体例

ア

「たとえば、歴史の本を読めば」の部分には、どんな役割をしているかを選びましょう。

イ

本を読む方法を説明するため

エ

教科書の考えに反対する意見を示すため

ウ

筆者の主張をわかりやすくするための具体例

エ

教科書の考えに反対する意見を示すため

ウ

筆者の主張をわかりやすくするための具体例

ア

「たとえば、歴史の本を読めば」の部分には、どんな役割をしているかを選びましょう。

イ

本を読む方法を説明するため

エ

教科書の考えに反対する意見を示すため

ウ

筆者の主張をわかりやすくするための具体例

✅ 答えと解説 問題正解説

問一

最初の文に筆者の主張がはっきり書かれて

います。

「本を読めば」

「たとえば」で始まる文章は、主張をわか

りやすくする

ための具体例

です。

「たとえば」

「本を読めば」

「歴史の本を

読めば」

の部分には、

どんな役割を

しているかを

選びましょう。

🌟まず最初に：「説明的文章」ってどんな文章？

- ・ 事実や意見をわかりやすく説明する文章
- ・ 筆者が伝えたい「考え・主張」と、それを支える「理由・例（たとえば）」がセットで書かれている

🧠読解の型（ステップ5つ）

ステップ①【最初の段落をしっかり読む】

📌「この文章は何について書かれているのか」をつかむ

- ・ 「テーマ（話題）」を見つけよう
- ・ はじめに「ふだんの思い込み」や「問題点」が出てくることが多い

🔍ポイントワード：

「たとえば」「しかし」「つまり」「このように」「一方で」

ステップ②【筆者の主張を見つける】

📌「筆者は何を言いたいのか？」がカギ！

- ・ 「～べきだ」「～のではないか」「～と考えられる」が出てきたら主張！

📝メモのコツ：

主張＝意見（言いたいこと）

理由＝なぜそう思うか（説明）

例＝具体的な話（イメージ）

ステップ③【「理由」や「具体例」を見つける】

📌主張を支える「根拠」を読み取る！

- ・ 「なぜなら」「たとえば」「このようなことから」などに注目！

👁️例が1つしかないときは、よく読もう。

👁️例が2つ以上あるときは、共通点やちがいを整理しよう。

ステップ④【接続語に注目！】

📌文章の流れをつかむカギ！

接続語使われ方のヒント

しかし、だが 反対のことを言い始める

つまり 大事なまとめがくる

たとえば 例が出てくる

このように 結論やまとめがくることが多い

ステップ⑤【問題文は「先に選択肢」→「本文へ戻る」】

✦ 答えを「探す」スタイルで解こう！

- いきなり全部読むより、選択肢を見てから本文に戻ると効率的！
- 「この言葉、本文のどこにあったかな？」と“ひっかけり”を探す

✦ よく出る問題パターンと解き方

問題のタイプ解き方のコツ

筆者の主張はどれ？ 「～と考える」「～べきだ」を探そう

理由はどれ？ 「なぜなら」「そのため」などを探そう

具体例はどれ？ 「たとえば」の後にある文を確認

反対の意見はどれ？ 「しかし」「一方で」の後の内容に注目

言いかえ問題 同じ意味になっている言葉を探す

📖 おすすめの解き方まとめ（型）

コピーする編集する

- ① テーマをつかむ（はじめの段落）
- ② 主張を見つける
- ③ 理由や例をおさえる
- ④ 接続語で流れをつかむ
- ⑤ 問題は選択肢から→本文に戻る

👤 保護者や先生の方へ

お子さんが文章の全体を「ストーリー」ではなく「論の流れ」として理解できるように、メモや図にして整理する練習が効果的です。

「主張 → 理由 → 例」のセットで書かれていることを意識すると、説明文の読解が一気にスムーズになります。